



オンラインで開催 与那原未来戦略「綱がるプロジェクト」MANABI-Ba

与那原町では、再生可能エネルギーと電気自動車に関する各種データを取得・分析し、防災や福祉を含む各種事業に結び付けることによって地域課題の解決を図るとともに、持続可能なまちづくりを目指す、与那原未来戦略「綱がるプロジェクト」に取り組んでいます。

まちづくりは町民や関係者が一体で取り組むことが重要であることから、町では「綱がるプロジェクト」の内容や与那原のまちづくりの未来と一緒に学べる場所となる「MANABI-Ba」を開設しました。

■エネルギーとまちづくり

「MANABI-Ba」はこれまで、8月8日・29日にオンラインで開催し、みやまパワーHDの磯部達氏から「今後のエネルギー社会はどうなるのか」「ドイツで取り組まれている再エネルギーによるまちづくり」、自動車新聞社の井上佳三氏から「電気自動車や自動運転の現状と未来」、同社の齋藤せつな氏から「ウォーカブ

よなばる綱がるプロジェクトは 再エネ×電気自動車からまちづくりへ

「自然エネルギー」と「電気自動車」を活用した
“与那原発のまちづくり”です。



ルシティ」、沖縄県MICE推進課の又吉賢一氏から「大型MICEとまちづくりの関係」、資源エネルギー庁再生可能エネルギー推進室の樋口祐太氏から「日本の新エネルギー施策」について講演していただき、各内容を学びました。

参加者の質問中、ドイツで取り組まれているエネルギーを中心とした地域公共事業者「シュタットベルゲ」を日本で実施するためのポイントを尋ねられた磯部氏は「地域住民の郷土愛を大切にし、地域とともに作り上げることが重要である」と回答。ほかにも多くの質問が寄せられ、参加者の関心の高さがみられました。

綱がるプロジェクト「MANABI-Ba」は今後「公共交通」を学ぶ予定です。オンラインは場所を選ばず、どこからでも参加できますので、ぜひ気軽に参加して与那原の未来と一緒に考えませんか。今後の日程は町HPや与那原ナビでお知らせいたします。MANABI-Baでお会いしましょう。



ネット上のライブストリーミングで行われた第2回MANABI-Baの様子